

さいたま市長定例記者会見

令和2年9月16日（水曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社のNHKさん、進行をよろしく願いいたします。

○ NHK 9月の幹事社を務めますNHKと申します。よろしくお願いいたします。
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長からご説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
9月4日に全47都道府県幸福度ランキング2020年版が発売され、さいたま市が政令指定都市中第1位と大変高い評価をいただくことができました。この幸福度ランキングは、様々な統計データを比較して順位をつけているもので、客観的な評価をいただいたものであると思っております。市民の皆様にも幸福度を実感していただけるよう、さらなるCS90運動の推進に取り組んでまいります。

また、平成31年3月にオープンしました「まるまるひがしにほん」が約1年半で来場者数100万人を突破しました。これまでご来館いただいた皆様、またご協力いただいた関係各位の皆様にご心から感謝を申し上げます。

これを記念して、来館の皆様にご感謝の気持ちを伝えるとともに、東日本交流拠点として、更なるPRのため100万人突破キャンペーンを行います。詳しくはお手元の記者発表資料を御覧いただきたいと思います。

なお、明日から開始される予定のキャッシュレス決済キャンペーンですが、一部報道にもございましたが、口座からの不正引き落とし被害がありました。PayPay株式会社では、この不正を受け、既に9月からセキュリティの拡大を行うなどの対策を講じたと発表しておりますが、その内容について、直接、事実確認ができていないことから、明日からの実施を延期することといたしました。今後につきましては、決定次第改めてお知らせさせていただきます。

冒頭説明：本市の新型コロナウイルス感染症の状況

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

まず、本市の新型コロナウイルス感染症の状況について説明させていただきます。

はじめに、直近1週間の数値や週ごとの比較を用いて、感染状況や検査数などの傾向、推移をより分かりやすくお伝えします。

まず、本市の感染状況についてですが、9月14日時点で、市内の検査で陽性が判明した方が累計で658名、うち感染経路不明者が243名となっております。6月下旬以降、本市においても感染拡大が続いていましたが、8月中旬をピークとして減少に転じています。

9月6日から9月12日までの直近1週間の陽性者数は13名、感染経路不明者は5名となっております。その前の1週間では43名の陽性者が報告されていたことを考えますと、大幅に減少していることが分かります。

全国的には、地域差はあるものの、7月下旬から8月上旬をピークに新規感染者数が減少しております。しかしながら、今後の感染状況はまだまだ不透明ですので、引き続き気を緩めず状況を注視する必要があります。

次に、本市における新型コロナウイルス感染症の検査状況及び陽性率について説明します。

陽性率は、6月下旬から上昇し始め、比較的高い数値で推移していましたが、8月中旬以降、緩やかに減少し始め、9月14日現在では1.5%となっております。

また、検査数につきましては、9月14日現在で新規疑い例の累計検査数は2万2,390件、9月6日から9月12日までの直近1週間の検査数は1,223件となっております。

6月下旬以降の感染拡大に伴い、検査需要も増加しましたが、市内医療機関等にもご協力いただきながら必要な検査を実施してまいりました。感染状況が落ち着きを取り戻しつつありますが、引き続き必要な方が速やかに検査を受けられるよう検査体制の拡充を進め、適切に対応してまいります。

次に、本市における新型コロナウイルス感染症の感染傾向についてご説

明します。

はじめに、市内の居住者の療養状況についてですが、直近1週間の状況を比較してみますと、入院、宿泊、自宅での療養者数がいずれも減少していることがお分かりになると思います。一方で9月7日に1名の方がお亡くなりになっております。本市では、7月17日以来、11人目となります。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈り申し上げたいと思います。

次に、感染者の年代別内訳についてですが、直近1か月の状況を2週間ごとに比較してみますと、感染者数が減少している状況ではありますが、主に10代、20代及び40代の感染割合が増加しております。これまで20代から30代の若い世代で感染が拡大した後、次第に高齢世代の感染割合が増加してきたところですが、最近では家庭内での感染が比較的多く発生していることもあり、様々な年代の方の感染が発生していることが分かります。

先ほども説明しましたが、本市の新規感染者数は減少傾向でございます。社会経済活動を行いながら感染拡大をある程度抑えられたことは、市民や事業者の皆様のご協力のおかげであり、改めて感謝いたします。今後も日常生活での手洗い、マスクの着用、定期的な換気など基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

また、家庭内の感染が比較的多く発生していることから、特に重症化リスクが高いとされております高齢者や基礎疾患がある方がいるご家庭では十分にご注意いただきたいと思います。

今年の冬は、インフルエンザと新型コロナウイルスの両方の対応が求められることとなります。そのため、「高齢者インフルエンザ定期予防接種」については、例年より早く、10月1日から実施します。対象となる方は、早めの接種をお願いします。

本市では、引き続き市民の命や生活を守ることを最優先に対策に取り組んでまいりますので、市民、事業者の皆様には引き続き適切な感染予防対策の実践をお願いします。

市長発表：議題1「さいたま市食品ロス削減 Wプレゼントキャンペーンを実施します！」

それでは、議題の1つ目です。「さいたま市食品ロス削減キャンペーンを実施します」についてご説明します。

まず、本市の食品ロスの排出状況について説明します。日本の食品ロスは、事業者が排出した「事業系の食品ロス」と家庭から出る「家庭系食品ロス」がおおむね半々程度となっております。さいたま市の家庭からは、年間1万4,000トン、市民1人1日当たり30グラムの食品ロスが排出されている状況です。

本市では、まず家庭系食品ロス削減のために、余った食材をスープにしておいしく食べきる「Saitama Sunday Soup（日曜日は食べつくスープ!）」という事業を開始しました。そして次に、事業系食品ロス削減のために食品関連事業者の皆さんと市が連携・協働していく「チームEat All」を立ち上げました。

今年度は、これらの取組をより多くの市民の皆様にお知らせすることで、今一度ライフスタイルを見直していただき、食品ロス削減を一層推進するため、「Wプレゼントキャンペーン」を実施します。

10月は、国が定める「食品ロス削減月間」となっております。全国で食品ロス削減の機運が高まる時期です。この10月に合わせて、「Saitama Sunday Soup」と「チームEat All」についてPRするため、市民の皆様にご参加いただける2つの抽選キャンペーンをスタートします。いずれもウェブサイトやSNSを最大限に活用し、コロナ禍においても安心して参加いただけるスキームとなっております。

まず、「チームEat Allプレゼントキャンペーン」についてですが、キャンペーンの目的は、チームの参加事業者による食品ロス削減の取組をしていただくことで市民の皆様にもご協力をお願いすること、例えば外食で食べ残しをしないなど、事業者から出る食品ロスについても問題意識を持ち、協力していただくことで減らせるロスもあると考えております。

各参加事業者の取組は、専用応募はがき付きリーフレットまたは特設ウェブサイトで紹介しております。リーフレットは、各区役所の情報公開コーナー、チーム参加事業者の店頭などで配架します。ウェブサイトは、9月30日から公開する予定です。これらの応募フォームから抽選に応募する

こともできます。

応募に当たって食品ロスに関するアンケートに答えていただきますと、抽選で3名様に「電気圧力鍋」を、122名様に参加事業者の協賛によるプレゼント品を差し上げます。

なお、アンケートでいただいた市民の皆様のご意見は、事業者にフィードバックさせていただきます。事業者と消費者がこのキャンペーンを通じて相互に働きかける仕組みとなっており、本事業の狙いでもございます。市民の皆様のご意見、アイデアなど、ぜひお送りいただきたいと思っております。

チームの参加事業者は、御覧のとおりです。現在20社にご参加いただいております。どの事業者も食品ロス削減に対して高い意識を持って日々取り組んでおります。市内に店舗や工場がある事業者も多いので、キャンペーンを通して各事業者の取組を知っていただき、ご利用の際はぜひ食品ロス削減のこともしっかりと意識をしていただきたいと思っております。

なお、本市のキャンペーンとは別に、食品ロス削減月間に合わせ独自の取組を準備している事業者もあり、市も連携しながらさらなる食品ロス削減を進めてまいります。

次に、「日曜日は食べつくスープ！Instagramキャンペーン」についてご案内させていただきます。

キャンペーンの目的は、食品ロスをおいしく減らすことができる「食べつくスープ」を家庭で実践をしていただき、食品ロスを出さないライフスタイルに取り組んでいただくことです。

応募方法は、作った「食べつくスープ」を写真に撮っていただき、所定のハッシュタグ・メンションをつけてInstagramに投稿していただくものです。抽選で10名様に「真空断熱スープジャー」をプレゼントします。ご家庭で作った食べつくスープを、ランチなどでもぜひ楽しんでいただきたいと思います。

この「食べつくスープ」には、食品ロス削減だけではなく、家事の時短や食費の節約など、様々なメリットがございます。キャンペーンを通して一度実践していただければ、その後も無理なくライフスタイルに取り入れ

ていただけるものと考えております。

市民の皆様には、ぜひこの「食べつくスープ」に取り組んでいただき、ハッシュタグを活用し、レシピをシェアしたり、新しいアイデアを加えたりしていただくなど、SNSの波及効果を最大限に生かしながら食品ロス削減の輪を大きく広げていきたいと思っております。キャンペーンや食べつくスープの詳細は、特設ウェブサイトやInstagramの食べつくスープ公式アカウントを御覧いただきたいと思っております。

なお、食べつくスープの公式アカウントでは、ご家庭でアレンジして作っていただけるスープのレシピなどを掲載しているほか、「#さいたま食べつくスープ」を御覧いただければ、キャンペーン期間中、応募者の作ったスープの写真を見ることができるので、スープ作りのヒントとしていただければと思います。

さいたま市が発信する食品ロス削減の取組が市外にも波及すれば、世界的な課題であります食品ロスの削減はもちろん、シティセールスの面で本市が得られるものは大きいと考えております。市民の皆様には、一人でも多くキャンペーンにご参加いただき、さいたま市から食品ロス削減の輪を広げていこうという意識を持っていただきながら、今一度ライフスタイルを見直していただきたいと思っております。

市長発表：議題2「さいたま市岩槻人形博物館特別展「こどものかたち—創作人形の力展～平田郷陽・野口光彦を中心に～」を開催します」

続きまして、議題の2です。「さいたま市岩槻人形博物館の特別展『こどものかたち—創作人形の力展～平田郷陽・野口光彦を中心に～』を開催します」について説明します。

まず、岩槻人形博物館について説明します。さいたま市は、盆栽、漫画、人形、鉄道を魅力ある資源として位置付けており、人形文化を振興、発信するための拠点として令和2年2月22日にさいたま市岩槻人形博物館を開館しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開館直後に休館となったものの、6月からは感染拡大防止対策を行いながら開館しております。本議題は、岩槻人形博物館で初となる特別展について説明します。まずは、15秒のPR動画を御覧いただきたいと思っております。

それでは、開催概要について説明します。先ほど説明したとおり、開館後初となる特別展でございます。昭和初期に人形芸術運動で人形の芸術的価値を高めることに尽くした、人間国宝であります平田郷陽と野口光彦の2人の人形作家を中心とした6人の作品を紹介してまいります。

職人から創作人形作家への道のりをたどった同年代の作家たちの子供や親子の形をモチーフとした作品32点を展示しています。写真は、無垢な子供の一瞬の表情やしぐさを捉えた平田郷陽の「泣く子」と童子の生命力や神秘性を感じさせる野口光彦の「童心戯笛」でございます。会期は、令和2年10月3日から11月23日までとなっております。

関連イベントについて説明させていただきます。関連イベントとして講演会を2回、学芸員によりますスライドトークを4回開催します。1つ目の講演会ですが、10月10日土曜日、染織史が専門で、近代以降の創作人形に詳しい東京国立近代美術館工芸館主任研究員の今井陽子氏にご講演いただきます。2つ目の講演会は、11月8日日曜日、2011年に「歿後30年平田郷陽の人形」展を担当し、同年代に活躍した堀柳女にも詳しい佐倉市立美術館の副主幹・学芸員の本橋浩介氏を講師としてお招きし講演会を開催します。

講演会は、岩槻人形博物館初の講演会です。応募は締め切ったものの、まだ定員に余裕がございますので、お聴きになりたい方は博物館にお問い合わせください。人形について新たな知見が得られると思いますので、講演会、また学芸員によるスライドトークについてもぜひ皆様には記事にさせていただき、多くの方々に人形の魅力を感じていただきたいと思います。

次に、プレス内覧会について説明します。本展の開催に先駆けて、プレス関係者限定で実際の展示作品を公開します。開幕の前日である10月2日金曜日に午前、午後と同じ内容で実施をしますので、ご都合の合う時間帯に、ぜひご参加いただきたいと思います。受付開始は30分前からでして、冒頭に館長の林宏一が挨拶をさせていただき、その後学芸員による展示の説明を行わせていただきます。事前申込みをお願いしておりますが、当日急遽出席できるようになった場合には連絡なしに来ていただいても結構です。

次に、関連して割引サービスについて説明させていただきます。本展覧

会の開催に併せて、10月3日から期間限定のものと継続的なものの割引サービスを実施します。

まず、期間限定のもので、11月23日までのものですが、試行的に2つの割引サービスを実施します。

まず、1つ目ですが、岩槻人形博物館とにぎわい交流館いわつきの認知度向上、来館促進、それから地域商店の活性化のために、いわつきポイントカード事業協同組合と両館の3者が連携して相互割引サービスの提供を実施します。

2つ目としては、大宮盆栽美術館が毎年夏に行っております「浴衣 de 盆美」と対になる企画として「着物で岩槻」を実施します。地域と連携し、この期間中、一部を除く土曜、日曜、祝日に限定で着物のレンタル、また着付けが博物館近くの見世蔵でできることとなりました。着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料になります。

継続的なものは、東横インと岩槻人形博物館で提携し、相互に協力をすることになっております。東横インは、博物館の周知に協力し、博物館は東横イン会員の観覧料を割引するものです。

最後に、岩槻人形博物館で初めての特別展の開催に当たり、作品の借用を快諾いただきました他館や個人の方など関係者の皆様に改めて感謝を申し上げます。6人の人形作家が作る「こどものかたち」を通して、その美しさや現代まで通じる人形の持つ「力」をぜひ感じていただきたいと思っております。

私からは以上でございます。

- NHK では、市長からのご説明について、マイクを使用して質問をお願いいたします。

冒頭説明に関する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。

高齢者のインフルエンザ定期予防接種が例年より早く10月1日ということなのですが、例年はいつで、今年は、先ほどもご説明がありましたけれども、コロナ等の関わりが不安視されていますので、どういうふうに市としては予防接種に関して呼びかけていくかというのを教えていただけますか。

○ 市長 まず、通常は10月20日から高齢者のインフルエンザ予防接種を開始していますが、今年は10月1日から前倒しして行うこととしました。これは、ご案内のとおり、新型コロナウイルスとインフルエンザが重ならないようにと配慮して、できるだけ早くインフルエンザの予防接種を受けることを目的にするものです。

○ 事務局 従来からの周知方法に加えて、今年度は自治会のご協力をいただきまして、各世帯へのチラシを回覧し、広く周知を進めております。チラシの回覧につきましては、9月末から10月にかけて市内約37万世帯に回覧をする予定となっております。

冒頭あいさつに関する質問

○ NHK NHKと申します。
冒頭にありました20%戻ってくるキャンペーンの延期についてお尋ねいたします。延期の理由について、まだ事実関係を確認できていないというお話だったのですが、それは安全性が確認できていないということなのか、その延期の理由をもう少し詳しくお伺いしたいというのが1点と、あとどの程度延期を検討されているのか、何日ぐらい検討されているのか、あとは延期によって参加している事業者の方への影響というのがどんなことが考えられるのか、お伺いできますでしょうか。

○ 市長 まず、延期をした理由ですが、昨日PayPayを巡って不正が行われたという発表を受けて、セキュリティ面についてPayPayからも発表していますが、私たちとしても責任を持ってそのセキュリティの向上策について事実確認をしっかりとした上で開始したほうが良いという判断の中で、その確認がとれ次第、できるだけ早くスタートを切っていきたいと考えています。事業者の皆さんは、現在5,000店舗ぐらいが加入しており、もう明日に迫っておりますので、大至急お知らせし、また併せて市民にもお知らせしていきたいと考えています。

○ 読売新聞 先ほどの質問にありましたインフルエンザの予防接種の関係なんですけれども、ほかの自治体では、例えば65歳以上の方の負担を無料化にするであるとか対象の枠を広げるような施策、コロナ対策も踏まえてされているようなのですけれども、そのようなお考えというのは特に市ではなかったのでしょうか。

- 市長 さいたま市としては、これまでも市民の皆さんに1,600円の負担をお願いして、それ以外のところの負担は、補助させていただいていますが、現状としては今、その方向性をそのままやっていると考えております。ただ、やはり早めにスタートして、今まで以上に広報活動、呼びかけを積極的に行う中で、早めに高齢者の皆さんにはインフルエンザのワクチンを打っていただくという取組をしてみようと考えています。
- 読売新聞 市としては現状の方向性でやっていくという判断なんですけれども、それはなかなか人口が多くて、そういった無償化するであるとか対象を広げるとなると、予算面だったりワクチンの供給量だったり課題があるということなんですか。
- 市長 今お話しのとおり、予算面、あるいはワクチンの供給量などの点もございますので、私としては対象の市民の皆さんにできるだけ、特に高齢者の方々にできるだけ早くワクチンを打っていただくということで、秋から冬にかけて新型コロナウイルスとインフルエンザができるだけ同時に流行が起これないように取り組んでいきたいと考えております。
- 朝日新聞 インフルエンザの関係で、関連で質問します。
- 今のお話の中で、まず1つ、清水市長が供給量って言ったのですけれども、供給量という問題ということになると、供給不足が生じるおそれあるという、そういう意味なのでしょうか。要するに軽はずみな発言なのか、それとも供給量が本当に問題なのかということで、公費負担のこういう助成の拡大というのをしないということなのか、そこがちょっと引っかかったのですけれども。
- 市長 基本的にワクチンの供給量については、昨年より少し増量させて増やした形で生産されると聞いております。
- 朝日新聞 ですから、供給量が問題になるみたいな今言われ方したんですが、それは市長の発言ではどういう意図で公費助成との関係が出てくるのですか。供給量との関係もありますからと言ったんですが、意味がよく分からないんですけれども。
- 市長 供給量については、現状としてはまだ多いとも少ないとも言える状況ではないと考えております。ただ、今新型コロナウイルスの状況下でやはりインフルエンザと一緒にかかるということへの不安が非常に多い中での

で、その中で私たちとしては対象となる年齢層の方々にはできるだけ早く打っていただくということと呼びかけていくことを考えておりました、供給量についてどうだと言われると、今のところ多いとも少ないとも言えない状況でございますので、(供給量のみが助成の拡大をしない理由と誤解されるのであれば)その部分については撤回させていただきたいと思います。

- 朝日新聞 あと、今の無料化するという、例えば65歳以上のお年寄りに予防接種をしていただくために公費助成して無料化するということは市の内部で検討をしたことはあるんですか。それともしていないのか。したとすれば、例えばそれによってどのぐらいの必要経費が生じるのか、その辺を教えてください。
- 市長 検討はしてきました。必要経費等については、担当からお話させていただきたいと思います。
- 事務局 資料を持ち合わせておりませんので、後で提出させていただきたいと思います。(会見後、経費等に関する情報提供)
- 朝日新聞 その必要経費という問題は、今回、今市長が言われたように公費助成を拡大するというのを今のところしないという判断に傾いた一つの要因として考えていいですか。
- 市長 それらも含めて総合的に判断したということです。
- 朝日新聞 もし例えば今後インフルエンザの流行などの様子によっては公費負担を拡大するという考えは変わる可能性はありますか。
- 市長 今後の状況、推移を見守りながらになると思います。もちろん予防接種の場合、実施していただく医療機関との調整などもございますので、そういったことも含めて様子を見ながら対応していきたいと思います。
- 朝日新聞 その場合は専決処分ということですね。
- 市長 議会のタイミングとか、そういったものをきちっと見極めながら対応していくことになると思いますが、できるだけ議会でご議決をいただけるように基本的には進めていくのが必要だと思います。
- 日刊工業新聞 日刊工業新聞社と申します。
20%戻ってくるキャンペーンなんですけれども、先ほど事実関係を確認して判断されるということで、再開するに当たってはこういったことを前提に、こういうことを満たしたら再開する予定といったような、どうい

ったことを前提に再開をされる予定ですか。

○ 市 長 PayPayさんのホームページ上の発表ですと、9月当初からセキュリティ強化を2段階認証を取り入れてやっているという話が出ておりますけれども、私たちとしても事実確認をしっかりとし、とにかくこのキャンペーンのスタートに当たるタイミングですので、そういった事実確認を、責任を持ってしっかりやった上でスタートさせたいということです。そういったセキュリティ対策について、しっかり取られているのかどうか事実確認をさせていただいた上で皆様にお知らせして、キャンペーンを盛り上げていきたいと思っております。

○日本経済新聞 今回のPayPayに関連してなんですけれども、まだ問題が明らかになったばかりで対応に追われている状況ではあると思うんですけれども、いち早く市民に活用してもらって、コロナで影響を受けた小売店の販売の回復につながるという意味でも早くやることって大事だと思うのですが、仮にセキュリティ対策の確認がなかなか時間が取られてしまった場合、違うキャッシュレス決済の事業者でやるということは考えられているのでしょうか。

○ 市 長 現時点では、入札等々のプロセスを経てPayPayに決定した経緯がございますので、そのセキュリティ対策についてしっかり取られているかどうかということを確認した上でできるだけ早くスタートしたいと思っております。

○日本経済新聞 そうすると、現時点ではPayPayさんを使ってこのキャンペーンをやるということに変わりはない。

○ 市 長 現時点では、それが取られていない、あるいは当面取られないということになれば話は別ですけれども、現時点ではその辺の対策をしっかりと確認した上でとなります。

○日本経済新聞 あと、その参加している、5,000店ほどあるということですが、その事業者さんにはどういうふうな形でお知らせするのか教えてください。

○ 市 長 基本的には、延期させていただくというご案内になると思います。期日については、いつからスタートできるかについては未定であることをお知らせしていきます。

○日本経済新聞 今日中に全ての店舗に。

○ 市 長 そうですね。基本的には、明日からスタートとなっておりますので。
幹事社質問：待機児童数が全国で最多となったことについて

- ①認可保育所の大幅な増設に伴う保育の質の担保
- ②新型コロナウイルス感染症による認可保育所等の整備計画への影響

○ NHK それでは、幹事社としての代表質問をさせていただきます。

先日、国が全国の待機児童数をまとめ、さいたま市は全国の市区町村の中で最も多いことが発表されました。市は、来年4月までに認可保育所などの定員をおよそ3,000人増員するなどの方針を示していますが、保育の質をどのように担保していくお考えかお聞かせください。

また、認可保育所等の整備計画について新型コロナウイルスの感染拡大がどのように影響していく可能性があるのかについても併せてお聞かせください。

○ 市 長 それでは、幹事社の質問にお答えします。

まず、認可保育所の大幅な増設に伴う保育の質の担保についてでございますけれども、本市では認可保育所等の保育の質を確保するために、事業の認可前と認可後の2つの段階での取組を行っております。

まず、保育所等の認可前の段階におきましては、運営事業者の施設運営実績、また財務状況などに基づきまして、適切に保育事業を運営できる基盤を備えているかどうかを審査しております。

また、施設運営実績に関しては、指導監査の結果についても提出を求め、指摘や指導を受けた事項がある場合には、その改善状況についても確認し、審査を行っております。

また、職員に対する研修方針を確認して、保育に必要な知識や技能を身につけられるよう十分な研修を実施しているかどうかについて指導しています。

また、認可後の保育施設運営の段階におきましては、市内の保育施設全体を対象にして保育士の専門性を高めることを目的とした様々な研修を実施しております。

また、保育施設の運営状況について指導監査を行うとともに、午睡時や

プール活動の抜き打ちの立入調査を行い、必要に応じてより適切な運営に向けた改善指導や助言を実施しているところです。

このような取組を通じて、保育の質を確保しながら保育の受入枠の拡充に取り組んでまいり所存です。

また、次の新型コロナウイルスによる施設整備計画への影響についてでございますけれども、認可保育所等の整備計画については、現時点では工事の遅れなどは生じていないと伺っております。

新型コロナウイルス感染症による直接的な影響は現時点では見られないという認識を持っております。今後、感染が拡大した場合に想定される影響としては主に3つあると思います。

1つ目は、施設整備への影響でございます。建設資材、設備機器の不足、あるいは建設業における人手不足などによって工期の遅れが生じることが想定されます。

2つ目としては、保育士確保への影響でございます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、民間が主催する保育士向けの就職説明会が開催できなかった話は伺っておりまして、就職活動に影響が出るものが想定されております。

3つ目としては、保育需要への影響です。経済情勢が悪化して家計にも影響が及ぶ場合には、共働き世帯が増えることで現在以上に保育施設の利用を希望する方が増えることが想定されます。

今後については、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、施設整備などへの影響が最小限となるように対応してまいりたいと考えております。

○ NHK

それでは、そのほかに質問がある方はお願いします。

その他：さいたま市立病院旧病棟に関する質問

○ 毎日新聞

毎日新聞です。

さいたま市立病院の旧病棟のことについてお伺いします。先日、市議会の委員会でも答弁があったんですけれども、市としては今取りあえず解体を延期して維持管理をするということで、経費にかかる質問もありまして、たしか今年度は2,300万ぐらいかかるというような答弁があったと思うのですが、それとは別に、県のほうが専用病棟を県内に4か所、仮設ということも含めて造る方針を固めたみたいなのですけれども、そういうこ

とも踏まえまして、今後また県と調整したり、協議をしていきたいというお話はありましたが、その調整ということですが、何を調整するのかとか、協議する余地というのがまだあるとお考えなのか、その辺について伺いたいたいです。

○ 市長 まず、県が4か所コロナ専用病棟を造るということは報道では聞いておりますが、正式発表されているものではありませんし、どのような要件、条件などがあるのかが分かりませんので、これについてのコメントは控えさせていただきます。

現在、県がピーク時1, 400床を確保するという方針の中で病床確保に取り組んでおられます。また、その取組や、今多くの方が不安に思っております新型コロナウイルスと季節性のインフルエンザ等が同時に流行っていくという中で、どのような状況が生まれてくるかがまだ見通せないというのが率直なところだと思います。

その中で、必要があればその感染状況などに応じて活用していただける、活用する機会があるとすれば、あるいはそういった状況を見極めながら県と協議をして、進めていくことになると思います。もしかしたら使われなかもしれません。

いずれにしても、その状況がまだしっかりと見通せない状況でありますので、先般の知事との会合の中でも、そういった状況を見極めながら協議していきましょうということになっているものと考えております。

○ 毎日新聞 今報道段階なので、コメントは控えるということなのですが、どうやら公募にするというような話になっていまして、例えば市立病院など持っていますので、市として応募するとか、そういう考えというのはおありでしょうか。

○ 市長 要するにどういう要件で公募されるのかということが見えていないと、どうするという事は、現時点では申し上げられません。

○ 毎日新聞 繰り返しになりますが、今協議していて、もしかしたら使わないということもあるかもしれないし、それは状況が見通せないということなのですが、その一方でやはり維持管理費というのが何千万とかかる、取っておけばその分お金もかかるという中で、バランスの問題なのでしょうが、お金、一方で延長していけばお金がかかり続けるということについてはどうお考

えですか。

- 市長 もちろんさいたま市としても、早く解体ができて次の駐車場造ったり、次の用途も考えて計画をつくっておりますので、もちろんそれができると一番望ましいわけですが、まだ新型コロナウイルスの状況がはっきり見極められない状況の中では、少なくとも私たちとしては、要するに来年3月いっぱいまでは、解体するのを基本的にはやめておこうと。もちろんその前に、もう大丈夫ですよという状況になれば、これはもちろん別の話ですが、ただ、来年4月以降は基本的には解体をしていくというのが基本的な考え方です。

幹事社質問に関する質問

- 朝日新聞 先ほどの保育園の関係でちょっと教えていただきたいのですが、今年さいたま市の待機児童がワーストワンということは、来年春に、市の計画では待機児童ゼロという目標を立ててある中で、自治体間で見れば、相対的に言えば悪化の一途をたどっていると、こういうことになるわけですが、来年3月に待機児童ゼロという、その計画については今見直す考えがあるのか、それともやれるという見通しがあるのか、そこを教えてください。

- 市長 まず、待機児童ゼロにしようという思いで、過去最大の定員増ということで3,066人の定員増という計画をつくって、今実施しているところです。

また、それだけでもまだ状況が分かりませんので、子育て支援型幼稚園で預かり保育を充実させた形の幼稚園ということで、幼稚園の皆さんにもご協力をいただいて、これも約1,400ぐらいだったと思います。正確な数字はまた後ほど言いますけれども、定数を確保しています。

(後日情報提供：令和3年度の「子育て支援枠」は1,265人を予定)

また、さらに申し上げますと、小規模保育施設についても今併せて増強しておりますので、そういった中で私たちとしては、待機児童ゼロを目指してやっていきたい。ただ、ハードルとしては決して低いものではないと思っております。

- 朝日新聞 そうしますと、今後の来年春に入園を予定しているお子さんの数を見通して計画を立てているけれども、それが完全実行できるかどうか分からない

いと。それは、子供の数が見通せないという要素なのか、それともこちらが計画どおりに全ての保育所整備ができるかどうか分からない、どちらの要素が強いのでしょうか。

- 市長 最も大きいのは前者と考えています。特にさいたま市は、去年、一昨年と15歳以下の転入超過数では全国で2年連続第1位でした。今も大型のマンションなどの建設が、ちょうど完成間近のマンションなどもあって、そこに子どもさんが何人ぐらいいらっしゃるかという状況がまだ十分つかめておりません。そういったいろいろな要素によって、私たちが想定しているものよりも多くなる可能性もありますし、先ほど幹事社質問の中にも、この社会環境の変化によって、保育所に共働きをして預けようという方々がさらに増えるという可能性も決してないわけではありませんので、そういった様々な状況の中にありますので、私たちとしては決してハードルが低いとは言えないと思っております。ただ、過去最大で数を増やし、そして子育て支援型幼稚園、あるいは最も今不足をしておりますゼロ歳から2歳までの子供たちに対応していただける小規模保育施設の整備によって、直近2年では大体定員が100名ぐらいでありましたけれども、今年は20施設程度、400人程度の定数を増やして、ゼロに向けて取り組んでいきます。

現状としては、そのような状況だということをご理解いただきたいと思っております。

- 朝日新聞 来年3月あたりのそういった大規模マンションの入居者の見通しというのは、分譲を開始した段階である程度の家族構成とか読めると思うんですけども、そういうことは実際に担当課でやっているのですか。

- 市長 現在、担当課でも様々な形で情報収集はしているところですが、まだ新都心周辺を含めて大規模な高層マンションがオープンするので、そういったところなど一部非常に人口が増加しているエリアがございます。そういったことも含めて、できるだけ情報収集に努めていきたいと思っておりますが、整備する時間的な問題もございますので、その中でできる限りのことを取り組んでいこうと思っております。ゼロを目指して取り組んでおりますが、ハードルは決して低くはないということです。

- 朝日新聞 最後にちょっともう一度。要するに、今までさいたま市はゼロを目指し

て、何年も何年も整備してきました。だけれども、いつも待機児童がこれだけということで、全国の自治体でもたくさん残っている。これは、要するに市として非常にいつも読み間違いするということですよ。要するに毎年毎年このぐらいだろうと思ってやったら、もっとたくさんのお子さんがいたという、要するにそれは市としての失政ですよ。だからこそ、もっと多めに読んで、それで待機児童がいなくなる、これぐらいならいなくなるだろうというぐらいのもっと見積りを多くする、そういうやり方をしなければいけないと思っているんですけども、なぜいつも予想よりも多くなる、その繰り返しをやっているのですか。それは、市のやっぱり進め方、市政としての進め方の失敗ではないかと思うんですけども、どう認識していますか。

- 市長 先ほども申し上げましたけれども、全国で一番15歳以下の人口が、転入超過が増えていることもありますし、これまでさいたま市は幼稚園に入る子どもたちが多かったのですが、その子どもたちが今幼稚園に通う割合が大幅に減少しています。社会環境の変化もあります。そういった中で、定数を増やしていく取組は、これまでもずっとやってきているところで、既に10年間でもう倍以上、施設の数で言えば2.5倍近く増やしてきているという状況がございます。それらをこれまでも努力してきていますので、失敗だったかどうかというのは、今後、市民の皆さんにご判断いただくことだと思いますけれども、その辺は十分ではなかったかもしれませんけれども、ゼロを目指して取り組んできたということですよ。
- 朝日新聞 では、市民が判断するというので、来年の結果を見たいというふうに思います。

その他：令和3年度予算編成方針に関する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
午前中に、令和3年度の予算編成方針が出ましたけれども、新型コロナの影響もあって、財源不足が予想より40億円増えると、210億円ということなんですけれども、市税の減税もあるという、この編成方針についての市長の受け止めをお願いいたします。
- 市長 予算編成方針については、令和3年度は、さいたま市が誕生して20年を迎えるとともに、次期総合振興計画の計画期間のスタート、最初の年で

もでございます。延期となりました東京2020大会の開催の年にも当たり、本市としては大変大きな節目となる重要な年でもございます。

いまだ終息の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症拡大という事態に対して、令和2年度に引き続いて市民の命や生活を守ることを最優先に、長期的かつ安定的な感染拡大防止策や医療提供体制の整備と市民生活や経済活動に及ぼす影響の最小限化、活力の回復に取り組む必要があると考えております。

こうしたことから、私たちとしては新型コロナウイルス感染症への対策を第一としつつ、既存事業全般にわたり、これまで以上にPDCAサイクルに基づく見直しと優先順位づけを行って、限られた財源を効率的、効果的に活用していくことで、感染症拡大防止策と社会経済活動を両立させて、本市が目指す将来の都市像の実現に向けて円滑なスタートをさせるための予算と考えています。

そうした中で、非常にまだ新型コロナウイルス感染症の拡大という状況が見えない中で、しっかりとその方針に基づき、状況を踏まえながら対応していきたいと思っております。

特に年々社会保障費、扶助費を中心とした義務的経費が増加している状況でして、今、記者さんからもお話がございましたように、財源不足が170億円見込まれている状況でもございます。また、歳入が新型コロナによって減少するかもしれない状況ですので、そういった事業のPDCAサイクルに基づく事業の改善、あるいは見直し、費用対効果、事業の優先度をしっかりと踏まえながら、予算編成をしていきたいと考えております。

その他：プレミアム付商品券事業について

○ 朝日新聞

プレミアム商品券についてお聞きします。

議会では、専決処分について一部承認しないという会派もありましたけれども、一応承認ということになりましたけれども、その後委託する事業者との契約は済んだのか、済んだとしたら幾らの契約額で、内訳はどうだったのか、そこを教えてください。

○ 市長

現在プレミアム付商品券事業については、契約に向けて作業を進めていると聞いております。

○ 朝日新聞

これからということですね。

- 市長 そうです。契約自体。
- 朝日新聞 契約ですね。12月実施のために急ぐ必要があったというんですけども、契約はいつ頃やるんでしょうか。
- 事務局 契約については、今週中に締結したいと考えてございます。
- 朝日新聞 今日、水曜日ですが、何曜日ですか。
- 事務局 今週中に締結したいということで準備を進めております。
- 朝日新聞 では、明日か明後日ということですね。
- 事務局 そのとおりでございます。
- 朝日新聞 一方で、議会では専決処分したことに対するいろいろな議論の中で、承認した会派からも、市として反省が見られるという話があったんですけども、市長として反省を、議会へのこの今回の議案への対応で反省すべき点があったと考えますか。そうではありませんでしょうか。
- 市長 今回専決処分について、議会でもいろいろなご意見を頂戴しました。私たちが議会からのご意見は大変重要だと思っておりますので、それをしっかりと受け止めて、今後十分それらを踏まえて対応していきたいと思っております。
- 朝日新聞 つまり、反省したのかしていないのか、イエスかノーかでお答えください。
- 市長 反省すべき点はあったと思います。
- 朝日新聞 それはどういうところでしょうか。
- 市長 説明について丁寧さに欠けていたと考えております。
- 朝日新聞 その丁寧さという抽象的な表現に対するもう少し具体的な意味では、時期なのか、内容なのか、あるいは臨時議会を開くというような対応もあったかということなのか、どういうことでしょうか。
- 市長 それら全てだと思います。
- 朝日新聞 臨時議会を開くということも考えるべきだったということですね。
- 市長 基本的には、今回の件については臨時議会を開く暇がなかったので、専決処分をお願いしておりますが、今後のことでいきますと、そういったことも想定をしながら、しっかりと対応していかななくてはならないと。基本は、専決処分は、できるだけやはり少なくしていくべきだと思っております。

- 読売新聞 先ほどの予算の編成方針についてなのですが、このたびの新型コロナウイルスでかなり影響を受けているということなのですが、その次期の総合振興計画のほうにも新型コロナウイルスの影響はあるというふうに考えられるのでしょうか。見直すお考えも含めてあるのか教えてください。
- 市長 次期総合振興計画にも、当然、新型コロナウイルスのウィズコロナ、アフターコロナにもなると思いますが、新型コロナそのものの影響は、10年間の長いスパンですので、減ってくるかもしれませんが、その中で様々な価値観が変わったり、いろいろなものが変化を余儀なくされているところがあると思います。そういったことも含めて、私たちなりに新型コロナについて様々なことを踏まえた形で、一部修正して提出させていただいたところですが、今回、議会でもご議論いただいています。そういったことも含めてご議論をいただいていると認識しておりますし、その辺も十分に踏まえた総合振興計画にしていく必要があると考えております。
- 読売新聞 具体的に見直しが必要だと考えているような点など、市長のお考えであれば教えていただければありがたいです。
- 市長 既に修正等も行っておりますけれども、やはり私たちなりに想定することについては盛り込ませていただいたつもりですが、1つは何と言ってもデジタル化の流れ、Society 5.0への流れというのは、これまで以上にかなり速いスピードで進んでいくんだろと考えられます。
- また、関連して働き方改革、あるいはライフスタイルも今キャンプであるとか、郊外で楽しむとか、あるいは暮らし方もそういった自然と親しむようなライフスタイルが見直されるような、そういった状況も生まれてくるのではないかと思いますし、いろいろな影響が出てくると思います。そういった状況を踏まえながら、さいたま市らしく計画を作っていくことが必要だと思っています。
- ただ、これまでもさいたま市としては、政令指定都市ではありますがけれども、産業都市としての面ももちろんございますけれども、併せて生活都市としての側面があり、自然環境、あるいは環境問題についてもかなり積極的に取り組んできたつもりですので、そういったスピード感の違いはあろうかと思いますけれども、おおむね方向性としては、これまでさいたま市が進めてきた部分もございますので、そういった大きな方向性は、継続

できるものだと認識しております。

ただ、新型コロナ、あるいは今後、気象状況が変わったりすることなども、いろいろな視点も踏まえて総合振興計画、これからの10年どういうまちをつくっていくのかということは、十分に議会でもご議論いただきながら、最終的によりいいものをまとめていきたいと思っております。

その他：浦和美園への病院誘致に関する質問

○ 読売新聞 別件なのですがけれども、前々回の大野知事の記者会見で、浦和美園への病院誘致について一番ネックとなっているところが、順天堂大学側とさいたま市側の現状認識の違いだというような発言があったんですけれども、市長としても同じような受け止めということでよろしいのでしょうか。

○ 市長 その意味が十分理解できませんけれども、浦和美園への順天堂の誘致については県の計画としてやられていて、私たちも全面的に協力するということでお話させていただいています。

その中で、既にまちづくり等ハード的な部分についてはいろいろお話もさせていただいておりますし、その中で建物を建てたりする計画についても、ご質問等があればいろいろ対応させていただいておりますので、私たちとしては一刻も早く着手していただきたいという認識は持っております。私はそういう認識を持っていますけれども、順天堂さんがどういうふうに思っているのかは私たちとしては分かりません。

○ 読売新聞 一応知事のご説明の中では、地元への十分な説明が順天堂大学側からなされていないという認識を市側は持っていて、大学とはちょっとずれているというお話だったんですけれども、そこについてはいかがですか。

○ 市長 その辺は、特に私たちに対してもそうですけれども、どちらかという地元医師会に対しても十分な説明を行ってほしいということをお話して、何度も申し上げてきました。その中で、順天堂の考えている計画等について、あるいは地域の医療との関連性についてご説明をぜひしていただいで、ご理解していただけるように努めていただきたいという話はしています。

その他：菅新総理大臣について

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

菅総理が誕生したと思うんですけれども、新総理への期待とか注文とか

あれば教えてください。

- 市 長 菅総理は横浜市議会議員を経験されて、秋田ご出身で、その後、首都圏にいられて、大変ご苦労されながら政治の道を歩んで、市議会議員、そして国会議員になり、今回総理になられるということでありまして、そういう意味では地方の声や、あるいは現場の皆さんの声を非常に大切にしてください方だろうと期待しています。

今まさに新型コロナの真っ最中ですが、引き続き、この新型コロナウイルス対策をまずしっかりやっていただくということ。それから、今、経済的にも非常に厳しい状況にありますので、経済対策をしっかりやっていただくということと、併せて、地方自治体、地方の声をしっかりと聞いていただきながら、地方創生にもぜひ、ご理解の深い方だと思いますので、取り組んでいただいて、大きな力を発揮していただきたいと思っています。

- NHK それでは、それ以外のご質問はないでしょうか。

どうもありがとうございました。以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

- 進 行 ありがとうございます。

以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は10月22日午後1時半からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後 2時39分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。